



主の恵み、私たちの応答

礼拝奉仕 ガイドブック

本郷台キリスト教会

目次

第1章 礼拝奉仕のススメ	3
第2章 本郷台キリスト教会の礼拝奉仕の全体像	4
第3章 主日礼拝を支える奉仕	5
1. ウェルカムグループ	5
2. プレイヤーグループ	9
3. ワーシップグループ	10
4. ワードグループ	12
5. フェローシップグループ	13
第4章 世代・対象別の礼拝奉仕	14
第5章 奉仕者の心構え	16
第6章 奉仕の応答に関して	18

第1章 礼拝奉仕のススメ

あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。
それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。ローマ人への手紙 12章1節

礼拝とは、神の恵みに応答し、**私たち自身を生きたささげ物として、主にささげる**ことです。私たちの生き方や日々の行動のすべてを通し、神が神であることを証しし、主こそ最高のお方であると告白するのです。

週に一度の「**主日礼拝**」は、その応答を教会としてともにささげる特別な時です。私たち一人ひとりが礼拝者としてその心を持ち寄り、その心をつにして、最高のお方に最高の礼拝をささげるのです。**礼拝奉仕の出発点は、そこにあります。**ですから私たちは、まずは最善を尽くして主日礼拝に出席し、真の礼拝者として自分自身を明け渡していく必要があるのです。

主日礼拝は、キリストのからだである私たちが、ともに建て上げられていくものです。ですから、礼拝がただ「参加するもの」としてとらえられるのではなく、それぞれの賜物と役割によって「ともにささげるもの」となっていくことを願っています。そして、それが礼拝奉仕です。

「受けるよりも与えるほうが幸いである」(使徒 20:35) とあるように、与えることを通して、私たちはかえって大きな恵みを受け取ります。

奉仕は負担ではなく、主への応答であり、恵みの通路なのです。

もし、まだ礼拝奉仕に関わっておられないようでしたら、ぜひ祈りつつ、あなたにできる奉仕を一つ見つけてみてください。

決して完璧である必要はありません。この小さな一歩が、あなたの礼拝をより豊かなものにし、教会全体を生かしていくのです。

さあ、ともに礼拝奉仕の恵みにあずかっていきましょう！

第2章 本郷台キリスト教会の礼拝奉仕の全体像

キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わせられ、つなぎ合わされ、それぞれの部分がある分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることとなります。 エペソ人への手紙 4章16節

私たちは、礼拝奉仕を次の5つのグループに分けて担っています。

1. ウェルカムグループ — 礼拝の「入口」を整える奉仕 —
2. プレイヤーグループ — 礼拝を祈りで覆う奉仕 —
3. ワーシップグループ — 会衆を主の御前へ導く奉仕 —
4. ワードグループ — みことばを整え、届ける奉仕 —
5. フェローシップグループ — 礼拝を「交わり」へとつなぐ奉仕 —

上記主日礼拝に加え、各世代・対象に応じた礼拝も行われています。

1. ジョイジョイチャペル (小学生以下)
2. YSU (ユース) 礼拝 (中高生)
3. NEXT 礼拝 (大学生以上 30 歳ぐらいまで)
4. スプリングチャペル (知的障害がある方々)
5. エスペランサ礼拝 (エスペランサに集う選手)

礼拝は、壇上に立つ人だけで成り立っているわけではありません。多くの兄弟姉妹の祈りと奉仕によって支えられているのです。

人目につく奉仕もあれば、見えないところでささげられる奉仕もあります。

しかし、どの奉仕も、大小や優劣はありません。

それぞれが異なる役割を担いながらも、目指すものは一つです。

それは、「主に喜ばれる礼拝をとともにささげること」です。

キリストのからだの一部として、それぞれがなくてはならない存在なのです。

第3章 主日礼拝を支える奉仕

1. ウェルカムグループ

— 礼拝の「入口」を整える奉仕 —

ウェルカムグループは、礼拝に来られた方が最初に接する奉仕です。駐車場や送迎、受付や案内は、単なる業務ではありません。笑顔や丁寧な対応を通して、キリストのあたたかさや歓迎の心を届ける大切な奉仕なのです。

会堂に足を踏み入れるその瞬間から、礼拝はすでに始まっています。聖書は私たちが「キリストの香り」と呼びます（Ⅱコリント 2:15）。一人ひとりがキリストの香りを受け取り、安心して集い、心を主に向けることができるよう整えることは、礼拝の土台を築く、とても重要な働きなのです。

【礼拝当日の奉仕】

駐車場：

安全な車の出入りのために誘導、交通整理をします。安全を守るだけでなく、礼拝へ向かう心を整える奉仕です。安心して主の前に立てる環境を支えます。

- 日曜日：各礼拝の前後（特に第3礼拝）

送迎：

礼拝に集いたいと願う方の足となる奉仕です。移動の支えを通して、礼拝の機会を守ります。本郷台駅への送迎バスの運転や、お身体が不自由な方からの依頼に応じ、乗用車で自宅まで送迎します。

- 送迎バスは、中型免許（限定解除）以上が必要です。
- 普通車での奉仕も必要です。

受付：

教会の顔として、一人ひとりを大切に迎える奉仕です。

一人ひとりの存在を認め、歓迎の心を形にします。

- 日曜日、各礼拝にいられた方を笑顔で迎え、出席の記録を助けます。
- 礼拝にいられる方々の名前が覚えられる奉仕です。

案内：

礼拝にいられた方を礼拝堂内で迎え、ふさわしい座席に案内します。

会堂の中で迷わず安心して礼拝に集中できるよう整える奉仕です。

献金：

献金の時に、会衆席の列ごとに献金袋をお渡しします。

主に喜びと感謝をもってささげ、仕える奉仕です。

配餐：

月に1度の聖餐式で、パンとぶどう液を配ります。

主の十字架を覚え、厳粛さと感謝の心をもって仕えます。

【式典・聖礼典を支える奉仕】

聖餐（準備・片付け）：

聖餐式の準備と片付けをします。

礼拝の中心儀を丁寧を整える奉仕です。

- 月に1度、聖餐式の前日と当日の奉仕です。

洗礼式（準備・片付け）：

洗礼式の準備・片付けと、受洗者のサポートをします。新しいいのちの誕生を、見えないところで支える、無くてはならない大切な奉仕です。

証し集作成（印刷・製本）：

洗礼式・転入式の際に配る受洗者・転入者の証し集を作成します。神がなされた救いの御業を記録し、教会全体で喜びを分かち合うための奉仕です。

【礼拝環境を整える奉仕】

会場コーディネーター：

礼拝全体の流れと環境を整える奉仕です。秩序と平安の中で礼拝が守られるようにコーディネートします。奉仕の性質上、応答ではなく礼拝部にて選任します。

装飾、生け花、フラワーアレンジ：

イースター、クリスマスなど、会堂に必要な装飾と行事ごとにふさわしい装飾を準備します。礼拝の空間を整え、被造世界の美しさを通して神の栄光を指し示す奉仕です。

イベント時のプレゼント作成：

母の日、父の日、敬老の日などの礼拝時にお渡しするプレゼントを用意します。

会堂の掃除：

来会者が気持ちよく過ごせるように、会堂の掃除をします。礼拝が心地よくささげられるよう、見えないところで土台を整える奉仕です。

園芸：

会堂入口周りの花壇を手入れします。教会の入口から神の創造の恵みと歓迎の心を表す奉仕です。

会堂メンテナンス：

教会敷地内の修繕やメンテナンスが必要な部分を担当します。

イルミネーション：

クリスマスの時期など、敷地内のふさわしい場所に電飾を配置して地域の方々に世の光であるお方を証します。

事務室受付：

事務室内で受付窓口の担当をします。教会スタッフが入る際も、基本的に日曜日はボランティアでの奉仕として担います。

献金集計：

礼拝献金の集計作業を行います。

主の御前でささげられた尊い献金が適切に用いられるように祈りつつ仕えます。

【歓迎とフォロー】

新来者歓迎：

礼拝に初めて来られた方を歓迎し、教会からの記念品をお渡しします。

また、フォローが必要な方には、牧会者や担当者へおつなぎします。

初めて来られた方に、教会の温かさと福音の入口を届ける奉仕です。

新来者プレゼント準備：

新来者歓迎用プレゼントをお渡しする準備をします。

教会の歓迎の心を形にする奉仕です。

来客接待：

主の働きに仕える講師やゲストが心静かに備えられるよう、必要に応じて礼拝の前後に敬意と祈りをもって支える奉仕です。

2. プレイヤーグループ

— 礼拝を祈りで覆う奉仕 —

プレイヤーグループは、礼拝の土台を祈りで築く働きです。

説教者のために、讃美のために、会衆一人ひとりのために、心から祈ります。

礼拝とは霊的なものです。

祈りは、礼拝を神の御業へと導く通路です。

祈りは、目に見える進行の背後で、実際に礼拝を支えているものです。

祈りの奉仕は、クリスチャンであれば誰でもできる最も本質的な奉仕です。

しかし、最も恵まれる奉仕でもあります。

なぜなら、祈れば祈るほど生きた主を体験し、自分自身も祈りの勇者として成長することが出来るからです。

祈りは霊的な戦いでもあります。

ですから、決して目立つことはありませんが、最も重要な奉仕の一つなのです。

密室の祈り：

礼拝の背後で、祈祷室で祈ります。

聖霊の導きの中、礼拝の守りと祝福のために祈りで仕えます。

会堂での祈り：

礼拝の祝福のために、会堂で祈ります。席で礼拝を覆う祈りの奉仕です。

礼拝が全ての妨げから守られるように祈ります。

礼拝勝利祈祷：

礼拝勝利祈祷会（土曜日）に参加して祈ります。

讃美と祈りで集中的に主の勝利を宣言し祈ります。

各自での祈り：

礼拝のための祈祷課題を祈ります。

日々の生活の中で礼拝を覚える奉仕です。教会の霊的呼吸を保ちます。

3. ワーシップグループ

— 会衆を主の御前へ導く奉仕 —

ワーシップグループは、会衆を主の御前へと導く奉仕です。

讃美と奏楽は、ただの心地よい音楽ではありません。

礼拝讃美（ワーシップ）は、私たちが心を主に向け、ともにいてくださる生ける神と深く交わるために、なくてはならないものなのです。

また礼拝中に、皆が集中すべきところに焦点を合わせ、聞きやすく、見やすい環境を整えることは、みことばと讃美が妨げられずに届けられるための大切な奉仕です。ですから、音響や映像などの技術的な奉仕も含め、へりくだって、心を一つにして仕えることが何よりも求められます。

讃美：

主日礼拝で、会衆讃美をチームでリードします。歌声を通して 会衆の心を神に向け、ともに神をほめたたえる道を開く奉仕です。

- 教会、兄弟姉妹を愛する思いをもって、ワーシップチームとして複数の讃美者、奏楽者と共に仕えます。
- 礼拝のための練習の時間があります。

奏楽：

主日礼拝で、楽器を用いて前奏、会衆讃美の伴奏に仕えます。また讃美リーダー、メッセージとも連携し礼拝の流れをつなぐ役割も担います。

- 教会、兄弟姉妹を愛する思いをもって、ワーシップチームとして複数の讃美者、奏楽者と共に仕えます。
- 礼拝のための練習の時間があります。
- 演奏できる楽器をお知らせください。

音響：

みことばと讃美がはっきりと届くよう支える奉仕です。主日礼拝で、音響機材を用いて、讃美、メッセージなどを会堂で聞きやすい音で届ける操作をします。

映像 (TD,VE,CAM) :

オンライン礼拝で、映像機材を用いて配信映像を届けるための操作をします。会堂内外に礼拝を届ける奉仕です。遠くにいる方にも礼拝の恵みを届けます。

- ・ TD (テクニカル・ディレクター)・・・
映像全体の統括・指示出しと、映像スイッチャーの操作を行います。
- ・ VE (ビデオ・エンジニア)・・・
最終的な出力映像、音声、配信の状態を確認します。
- ・ CAM (カメラ・アシスタント)・・・
TD の指示に従ってカメラを操作します。

パワーポイント操作 :

主日礼拝で、パワーポイント画面を操作します。歌詞や聖書箇所を正確に映し出し、会衆が神に心を向けられるように支える奉仕です。

記録写真・ビデオ撮影 :

記録用に、礼拝や諸集会の写真やビデオを撮影します。
神がなされた御業を記録し、後に証しとして残す奉仕です。

ワーシップ・コーディネーター :

讃美の流れと礼拝の秩序を整える奉仕です。会衆が自然に主を仰げるよう、さまざまな調整をします。奉仕の性質上、応答ではなく礼拝部にて選任します。

楽曲アレンジ :

会衆がより豊かに主をほめたたえられるよう、賜物を用いて楽曲を整える奉仕です。クワイヤー用、楽器奏楽用、特別讃美用など、讃美のアレンジ・編曲をします。

歌詞シート作成 :

礼拝讃美の歌詞を載せたシートを作成します。
会堂でスクリーンが見にくい方や、牧会ファミリー等で用いられます。

4. ワードグループ

— みことばを整え、届ける奉仕 —

礼拝の中心は、神のみことばです。

ワードグループは、みことばが正しく、豊かに、わかりやすく届けられるよう整える奉仕です。

ここで求められるのは、技術や表現力以上に、祈りと謙遜です。

奉仕者自身がまず神の御心を受け取り、聞き従い、通り良き管として、自分自身をささげていくことが出来るように取り組みます。

メッセンジャー：

聖書から神のみことばを取り次ぐ奉仕です。自分の言葉ではなく、主の語りかけを届けます。御言葉から礼拝メッセージを取り次ぎます。

原則として、牧師・伝道師と、牧師が特別に認めた者がこの奉仕に立ちます。

もし、主からの志が与えられている方がおられたら、牧師に相談してください。

ともに今後の導きを求めていきましょう。

通訳：

言語の壁を越えて、神の語りかけを届ける奉仕です。

福音を分かち合う橋渡しとなります。通訳ブースにて英語同時通訳の他、必要に応じて各言語で通訳をします。メッセンジャーと心を一つにして仕える必要があります。大きな霊的な責任を伴うので、単にことばが話せるだけではなく、礼拝者としての成熟が求められます。

手話通訳：

手話通訳で仕える奉仕です。

讚美やみことばを手話で正確に通訳するだけでなく、必要を抱えた方の立場に立ってサポートします。

5. フェローシップグループ

— 礼拝を「交わり」へとつなぐ奉仕 —

礼拝は会堂で終わりません。神を礼拝した私たちは、互いに愛し合うことで、その恵みを具体的に表します。

フェローシップグループは、その命が豊かに流れるよう支える大切な奉仕です。

礼拝後の食事は、単なる食事ではありません。

世代や立場を越えて語り合い、祈り合い、励まし合う場です。

交わりは教会の命です。

多くの交わりは教会ファミリーを通して育まれています。ファミリーに属しているかどうかにかかわらず、すべての人が安心して交わりに加わるよう仕える働きです。

コロナ禍を経て、一旦縮小していた主日昼食ですが、今後はまた、毎週用意して交わりの場が整えられるようにと願っています。志が与えられた方はぜひお申し出ください。

主日昼食「ひだまりカフェ」:

気軽な語らいの場を通して、心を開くきっかけを作る奉仕です。礼拝後の交わりのためのカフェを提供します。月1度原則第4主日に行っています。

第4章 世代・対象別の礼拝奉仕

— すべての礼拝は、等しく尊い奉仕です —

ジョイジョイチャペル、リトル・ラブリー礼拝、YSU（ユース）礼拝、NEXT 礼拝、スプリングチャペル、エスペランサ礼拝など、各世代・対象のための礼拝は、主日礼拝と同じく、主にささげられる大切な礼拝です。

ここに携わるスタッフ・働き人は、礼拝だけでなく、その世代・対象のために仕える働き全般を含みます。ですから、多くのコミットメントが求められますが、それぞれの世代に福音を届け、信仰の成長を支える働きは、教会にとって欠かすことのできない尊い奉仕です。

そのためにも、まずは自分自身の礼拝をささげることを大切にしましょう。

そして、もし関わっている世代・対象別の礼拝以外に、礼拝奉仕に加わりたいという志が与えられた場合は、必ずリーダーと相談して、ふさわしいバランスを祈りあった上で、仕えるようにしてください。

ジョイジョイチャペル

キッズ

- 内容：小学生の礼拝奉仕、礼拝の準備、リハーサル、キャンプ、聖書の学び等を通して子ども達に伝道します。そして、信仰の成長をサポートします。
- 日時：日曜日礼拝 11:00-12:00
土曜日礼拝の準備、リハーサル 14:00-17:00
- 場所：のあジム

児童養護施設での礼拝奉仕

- 対象：小学生以下
- 日時：金曜日 18:00 出発 19:20-20:00 礼拝
21:00 時頃教会戻
- 場所：茅ヶ崎
- 内容：運転奉仕、賛美奉仕、メッセージ奉仕等

リトル

未就学児の礼拝のための奉仕です。部分的な奉仕の応答でも構いません。

- ✧ ジョイフルホールの椅子セッティング
- ✧ 讚美リード、奏楽
- ✧ 手遊び
- ✧ 司会
- ✧ 見守り
- ✧ 献金を事務室に届ける

ラブリー礼拝

赤ちゃん連れの保護者のための礼拝奉仕です。

- ✧ メッセージ中の赤ちゃんの見守り
- ✧ とともに礼拝し、とりなす。
- ✧ おもちゃの整理、消毒など

ジョイジョイ応援販売

ジョイジョイチャペルの働きをサポートするために、昼食販売等を通じてサポートする働きです。

YSU (ユース) 礼拝 / YSU スタッフ

ユース（中高生世代）の礼拝や平日の活動、長期休みのキャンプなどのイベントで奉仕します。また分級を担当しユース世代の信仰成長を助け、中高生とスタッフで1対1の交わりを定期的に持ち、キリストにならう者へ成長することを目指します。

NEXT 礼拝 / NEXT スタッフ

18歳以上30歳までの世代の礼拝（原則第4主日）と信仰成長を助けることに奉仕します。

応答した人には、原則第一土曜日の17:30-20:00までのネクストフェロシップ（応答した人たちの交わりの時）への参加をお願いしています。

スプリングチャペル

知的障害がある方々のための礼拝（原則第1主日）で奉仕します。当事者とそのご家族の祝福のために仕えます。

エスペランサ礼拝

エスペランサの選手たちのために、グラウンドにみことばと福音を届けます。原則週1回土曜日にグラウンドに行ってみことばを分かち合います。

第5章 奉仕者の心構え

— 主に仕える心を大切に —

奉仕者として、以下のことを心に留めましょう。

① 自らが礼拝者となる

奉仕は礼拝の一部です。ですから、まず自らが礼拝者となることが大切です。奉仕があるから主日礼拝に来るという意識ではなく、奉仕があってもなくても、同じ心と姿勢で主の前に出るようにしましょう。

② 主に仕える心を持つ

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように」（コロサイ 3:23）
奉仕は、人に評価されるためのものではありません。何が主に喜ばれることなのか祈りつつ、いつも主との関係を深められるように仕えていきましょう。

③ チームとして仕える

教会はキリストのからだです。自分の役割だけでなく、互いを尊重し、助け合いながら仕えます。奉仕は、チームとして仕えることを学ぶ絶好の場でもあります。一人で背負わず、また誰も孤立させることなく、ともに歩んでいきましょう。

④ 謙遜に学び続ける

奉仕はゴールではなく、成長の過程です。誰も完璧ではありません。人からの指摘を受け入れ、改善し、より良い奉仕を目指す姿勢がとても大切です。私たちは、完成された人ではなく、整えられていく人として仕えるのです。

⑤ 祈りを土台とする

技術や経験以上に、祈りが奉仕を支えます。祈りのない奉仕は危険です。奉仕の前に祈り、奉仕の中で祈り、奉仕の後にも祈りましょう。また、ともに仕える奉仕者のためにも、互いにとりなし祈り合いつつ仕えていきましょう。

⑥ バランスを大切にす

神を第一とする歩みには、家庭生活、個人のデボーション、健康が不可欠です。どこかでバランスが欠けると、奉仕がただ忙しく、義務感に感じられるようになるかもしれません。定期的に優先順位を確認し、十分な休息をとり、自分自身の生活全体を見直す習慣をつけましょう。

しかし多くの場合、それは成長するチャンスでもあります。戦いを覚えるような状況があったら、すぐにリーダーや牧者に相談して祈りあってください。決して一人で戦う必要はありません。祈りつつ、ともに御心を求めていきましょう。

第6章 奉仕の応答に関して

奉仕は強制ではありません。

しかし、もし主があなたの心に何かを示しておられるなら、その小さな促しに応えてみてください。あなたが一歩踏み出し、与えられた賜物が主のためにささげられることを、主は喜んでくださいます！

応答の方法

応答はいつでもできます。

以下のいずれかの方法で、希望する奉仕に応答してください。

- ・ この冊子に付属する応答用紙に記入して事務室に提出する。
- ・ 次のページの QR コードからフォームを用いて応答する。
- ・ ホームページのリンクからフォームを用いて応答する。

応答した後のやり取り

応答後に、各リーダーから連絡がいきますので、そこで今後の具体的な奉仕について確認し、調整してください。（もししばらく待っても連絡が行かない場合は、トラブルの可能性がありますので、事務室までお問い合わせください。）

奉仕によっては、訓練等が必要になることもあります。

応答には、コミットメント（責任）が伴いますので、そのことを受け止めつつ、自分のなすべきことには忠実に仕えるようにしましょう。

応答の内容は、必要な範囲でリーダーシップチームと各奉仕グループの担当者に共有されます。また、奉仕者一覧としてチャペル内で掲示する場合があります。（氏名の扱いは教会の規定に沿って配慮します。）

皆様の礼拝奉仕が、豊かに祝福されるようにお祈りいたします。

ともにキリストのからだなる教会を建て上げていきましょう！

礼拝奉仕応答フォーム QR コード



問い合わせ

本郷台キリスト教会 礼拝部

office@hongodai.org



本郷台キリスト教会
HONGODAI CHRIST CHURCH

NAME

※この冊子の内容は 2026 年 7 月現在のものです。